



平成23年6月24日

	観光振興課
担当者	久柴、吉田、浦津
内線	2645
ダイヤルイン	895-2645

平成22年の観光統計について

平成22年長崎県観光統計（1月～12月）をとりまとめましたので、別紙のとおり、お知らせいたします。



平成22年 長崎県観光統計

長崎県の観光客延べ数（平成22年 1～12月）

29,008,813人（対前年+2.7%）

平成21年の28,249,099人^{（注）}と比べ、759,714人の増加

～観光客延べ数が2,900万人を超えたのは、平成15年以来7年ぶり～

～観光消費額は、対前年2.6%増の2,705億円～

（単位：人、%）

	平成21年	平成22年	増 減	対前年
観光客延べ数	28,249,099	29,008,813	759,714	2.7
日帰り客数	18,548,150	19,033,393	485,243	2.6
宿泊客延滞在数	9,700,949	9,975,420	274,471	2.8

（注）長崎、佐世保、西海各市において、平成22年から観光客数の算定方法が一部変更されているため、平成21年の数値は、同じ方法により推計した再算定数値を用いている。

<参考：平成21年数値>

（単位：人）

	昨年統計	再算定	増 減
観光客延べ数	28,128,697	28,249,099	120,402
日帰り客数	18,426,149	18,548,150	122,001
宿泊客延滞在数	9,702,548	9,700,949	1,599

1. 観光を取り巻く全国の様況

(1) 国民の観光動向

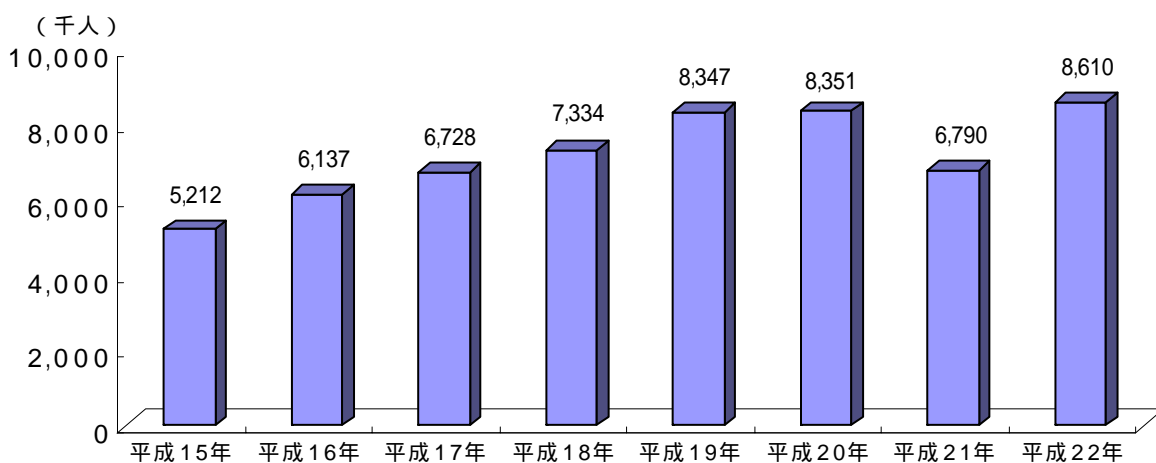
観光白書によると、平成22年度における国民一人当たりの国内宿泊観光旅行回数は、1.56回と推計され、対前年度比で1.3%減となった。また、国民一人当たりの国内宿泊観光旅行宿泊数は2.39泊と推計され、対前年度比6.6%減となった。

主要旅行業者61社の国内旅行取扱額は、前年の新型インフルエンザによる落ち込みからの反動による増加がみられたものの、景気低迷による旅行手控えが継続し、また、遠距離方面の商品で苦戦したため、前年と比べて0.7%減の3兆7079億円となった。

(2) 訪日外国人の動向

日本政府観光局(JNTO)によると、平成22年(1~12月)の訪日外客数については、羽田空港の国際定期便就航、訪日個人観光査証の発給条件緩和(中国)、世界各国の景気回復による外国旅行需要拡大などの条件が重なり、対前年26.8%増の861万2千人と大幅に増加した。(参考1参照)

(参考1) 訪日外国人旅行者数の推移



注) 日本政府観光局(JNTO)資料により作成

2. 長崎県の動向

(1) 概況

平成22年の観光客延べ数は、対前年2.7%増(+76万人)の2,901万人であり、2年連続で増加し、平成15年以来7年ぶりに2,900万人を上回った。

日帰り客数は、対前年2.6%増(+49万人)の1,903万人、宿泊客延べ滞在数は、対前年2.8%増(+27万人)の998万人となった。

主な増加要因として、大河ドラマ「龍馬伝」の放送により、長崎市を中心に集客効果がみられたことや、ハウステンボスの入場者数がリニューアルにより大幅回復したことがあげられる。

また、外国人観光客においては、前年の世界的な不況、円高、新型インフルエンザ等による減少から持ち直し、大幅に増加した。

県内を8つの地域ブロックに分けて見ると、「長崎・西彼」、「佐世保・西海・東彼・北松」ブロックでは、日帰り客、宿泊客ともに前年を上回った。観光客延べ数が前年を上回ったのは、「長崎・西彼」、「佐世保・西海・東彼・北松」、「島原半島」、「対馬」の4ブロックであった。

[表1] 過去10年間の観光客延べ数の増減

(単位: %)

年	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
前年比	0.4	0.2	2.4	4.4	2.4	0.0	1.7	1.4	0.9	2.7

[表2] 平成22年観光客数(詳細)

(単位: 人、%、泊)

	21年	構成比	22年	構成比	増減	対前年
観光客延べ数	28,249,099	100.0	29,008,813	100.0	759,714	2.7
日帰り客数	18,548,150	65.7	19,033,393	65.6	485,243	2.6
宿泊客延べ滞在数	9,700,949	34.3	9,975,420	34.4	274,471	2.8
延宿泊数	5,528,954		5,714,250		185,296	3.4
宿泊客実数	4,171,995		4,261,170		89,175	2.1
平均宿泊数	1.33		1.34		-	-
観光客実数	22,720,145		23,294,563		574,418	2.5

(注)平成21年は再算定後の数値である。

(2) 地域ブロック別動向

長崎・西彼ブロック(631万人、対前年+8.8% +510千人)

長崎市：1月より放送された大河ドラマ「龍馬伝」効果により来訪者が増え、特に、グラバー園、長崎歴史文化博物館、亀山社中記念館などの坂本龍馬関連施設では、前年と比べて入場者数が大幅に増加した。また、長崎ランタンフェスティバルでも対前年12.5%増(+100千人)と増加した。その結果、観光客延べ数は対前年9.4%増(+523千人)となった。

佐世保・西海・東彼・北松ブロック(792万人、対前年+6.7% +496千人)

佐世保市：大型観光施設であるハウステンボスは、新規イベントの展開やフリーゾーンの創出など、大規模なリニューアル効果により大幅に増加した。また、九十九島水族館「海きらら」も、前年のリニューアルオープン後順調に推移したため、大幅に増加した。その結果、観光客延べ数は対前年9.3%増(+469千人)となった。

西海市：崎戸町、大瀬戸町への入り込みが増加したものの、西海橋やみかんどームなど主要観光施設で利用者数が減少したため、観光客延べ数は対前年3.0%減(31千人)となった。

平戸・松浦ブロック(267万人、対前年+8.8% +256千人)

平戸市：4月に平戸・生月大橋の通行料金が無料化したことに伴い、日帰り客数は対前年8.4%増(+102千人)と高い伸びとなった。その結果、観光客延べ数は対前年2.9%増(+54千人)と増加した。

松浦市：前年の鷹島肥前大橋の開通効果からの反動がみられたため、観光客延べ数は対前年29.2%減(310千人)となったが、鷹島肥前大橋架橋前の平成20年(41万5千人)と比較すると観光客延べ数は大きく増加している。

諫早・大村ブロック(327万人、対前年+0.6% +20千人)

諫早市：天候に恵まれたつつじ祭りや、のんこの諫早まつり、諫早万灯川まつりなど主要イベントでは観光客が増加した。また、登山客の増加により、轟峡キャンプ村、多良岳金泉寺山小屋などで観光客の増加がみられたものの、主要観光施設では前年を下回ることが多かったため、観光客延べ数は対前年1.7%減(39千人)となった。

大 村 市：1月より放送された大河ドラマ「龍馬伝」効果の影響もあり、市内主要観光施設では観光客数が増加し、日帰り客、宿泊客延滞在数ともに前年を上回った。その結果、観光客延べ数は6年連続で増加し、対前年1.9%増(+19千人)となり、2年連続で100万人を超えた。

島原半島ブロック(693万人、対前年+0.0% +2千人)

島 原 市：島原城や雲仙岳災害記念館などの主要観光施設では、利用者数は減少したものの、各種スポーツ大会や合宿の増加などにより、観光客延べ数は対前年3.8%増(+56千人)と150万人を超えた。

雲 仙 市：小浜温泉にオープンした日本一長い足湯「ほっとふっと105」では、20万人を超える利用があった。しかし、宮崎県で発生した口蹄疫の影響による風評被害などにより、観光客延べ数は対前年1.6%減(-64千人)となった。

南島原市：前年と比べて宿泊客延べ滞在数は減少したものの、口之津温泉しらはま(前ヴィラスピカ南島原)の営業再開や、原城温泉真砂の10周年キャンペーンにより日帰り客数が増加したこともあり、観光客延べ数は対前年0.7%増(+10千人)となった。

五島ブロック(63万人、対前年 1.3% 9千人)

五 島 市：9月に公開された映画「悪人」のロケ地を巡るスタンプラリーの実施や、夏休み期間中のウェルカムアイランドキャンペーン実施により、一定の成果がみられたものの、天候不順による航路便欠航、アイアンマントライアスロン五島長崎大会の中止、大型客船寄港数減などの減少要因が重なり、観光客延べ数は対前年2.8%減(-11千人)となった。

新上五島町：宿泊施設の改築に伴う休業により、宿泊者数が減少しているものの、ウェルカムアイランドキャンペーン、海フェスタ長崎の実施により、ツアー客が増加したため、観光客延べ数は対前年0.8%増(+1千人)となった。

壱岐ブロック(55万人、対前年 0.7% 4千人)

壱 岐 市：3月に一支国博物館・長崎県埋蔵文化財センターが開館するなどの増加要因があったものの、宮崎県内で発生した口蹄疫の影響により、市内最大級のイベント「壱岐サイクルフェスティバル」を中止したことなどから、観光客延べ数は対前年0.7%減(-4千人)と、ほぼ前年並みにとどまった。

対馬ブロック（73万人、対前年+5.9% +41千人）

対馬市：前年の円高ウォン安により激減していた韓国人観光客に回復傾向がみられたことで、宿泊客延べ滞在数は7.9%増（+41千人）となり、その結果、観光客延べ数は対前年5.9%増（+41千人）となった。

[表3] 地域ブロック別観光客数（観光客延べ数）

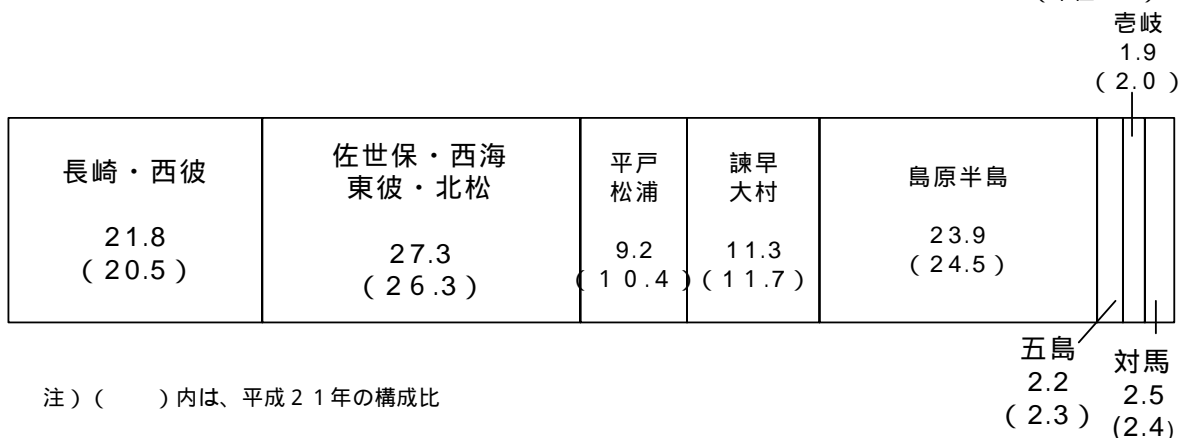
（単位：人、%）

	観 光 客 延 数						
	日 帰 り 客 数	宿 泊 客 延 滞 在 数	観 光 客 延 数	2 1 年 延 数	増 減	前 年 比	
県 計	19,033,393	9,975,420	29,008,813	28,249,099	759,714	2.7	
長 崎 ・ 西 彼	3,699,932	2,609,866	6,309,798	5,799,941	509,857	8.8	
佐 世 保 ・ 西 海 ・ 東 彼 ・ 北 松	5,184,528	2,735,745	7,920,273	7,424,735	495,538	6.7	
平 戸 ・ 松 浦	1,987,483	681,438	2,668,921	2,924,846	255,925	8.8	
諫 早 ・ 大 村	2,450,830	821,121	3,271,951	3,291,837	19,886	0.6	
島 原 半 島	5,271,402	1,653,609	6,925,011	6,923,057	1,954	0.0	
五 島	209,654	422,168	631,822	640,460	8,638	1.3	
壱 岐	63,994	486,225	550,219	554,098	3,879	0.7	
対 馬	165,570	565,248	730,818	690,125	40,693	5.9	

図1によりブロック別構成比を見てみると、最も構成比が高かったのは、ハウステンボスのリニューアル効果などが見られた「佐世保・西海・東彼・北松ブロック」で、27.3%であった。構成比の減少幅が最も大きかったのは、鷹島肥前大橋の開通効果からの反動がみられた平戸・松浦ブロックで、前年比1.2ポイント減の9.2%となった。

[図1] 平成22年 ブロック別観光客構成比

（単位：%）



(3) 地元・県内・県外別観光客の動向

観光客の動向を地元・県内・県外に区分して実数で見ると、

地元客 3,885千人で対前年1.5%増(+58千人)
 県内客 6,427千人で対前年0.8%減(-55千人)
 県外客 12,982千人で対前年4.6%増(+571千人)

となっており、県外客が大きく増加した。

また、観光客実数23,295千人(対前年2.5%増)に対する地元：県内：県外の構成比は、17：28：56となっており、県外客の占める割合が最も高い。

(表4参照)

[表4] 地域ブロック別観光客数(観光客実数)

(単位：人、%)

	観 光 客 実 数					
	地 元 客	県 内 客	県 外 客	観 光 客 実 数	2 1 年 実 数	前 年 比
県 計	3,884,934	6,427,303	12,982,326	23,294,563	22,720,145	2.5
長 崎 ・ 西 彼	372,584	377,758	4,073,373	4,823,715	4,408,100	9.4
佐世保・西海・東彼・北松	1,401,518	1,588,443	3,405,107	6,395,068	6,050,956	5.7
平 戸 ・ 松 浦	206,444	776,052	1,272,325	2,254,821	2,470,196	8.7
諫 早 ・ 大 村	1,132,572	1,324,153	361,335	2,818,060	2,839,240	0.7
島 原 半 島	629,465	2,183,967	3,226,383	6,039,815	6,007,550	0.5
五 島	66,828	112,558	200,500	379,886	378,646	0.3
壱 岐	25,502	13,806	187,849	227,157	228,229	0.5
対 馬	50,021	50,566	255,454	356,041	337,228	5.6

(4) 外国人観光客の動向

外国人観光客は、平成21年まで円高と世界的な景気の悪化により減少していたが、東アジア各国・地域の景気回復や、為替レートの安定により持ち直し、平成22年の外国人宿泊客延べ滞在数は、対前年37.4%増の721千人となった。

国・地域別に見ると、宿泊客数が多い順に韓国、台湾、米国、中国、香港の順となっている。外国人宿泊客の半数以上を占める韓国については、前年に大きく落ち込んだものの、円高ウォン安の緩和、景気回復などのプラス要因により、対前年49.2%増と大幅に増加した。

長崎港への国際観光船の入港については、日本に寄港した客船の中で、史上最大のクルーズ客船 Queen Mary2 が入港したことや、4月に初めて寄港した Legend of the Seas が、計13回入港したことなどにより、乗船者数は対前年27.2%増の76,798人となり、過去最高を記録した。

[表5] 外国人宿泊客数(平成22年)

(単位:人、%)

地域 国・地域	宿泊客 実数	延宿泊数	宿泊客 延滞在数	平成21年	前年比
アジア	273,453	325,605	599,058	442,763	35.3
中国	15,384	19,598	34,982	23,424	49.3
台湾	64,309	73,163	137,472	115,172	19.4
香港	4,241	4,726	8,967	13,883	35.4
韓国	176,380	209,802	386,182	258,842	49.2
シンガポール	3,073	4,399	7,472	4,630	61.4
タイ	3,527	4,317	7,844	7,706	1.8
その他	6,539	9,600	16,139	19,106	15.5
ヨーロッパ	11,418	17,409	28,827	22,169	30.0
北アメリカ	15,646	32,857	48,503	46,151	5.1
アメリカ	14,652	31,412	46,064	42,937	7.3
南アメリカ	2,269	3,410	5,679	1,291	339.9
オセアニア	2,251	3,327	5,578	4,004	39.3
その他	675	990	1,665	2,578	35.4
国籍不明	13,733	18,305	32,038	6,177	418.7
合計	319,445	401,903	721,348	525,133	37.4

[表6] 国際観光船入港実績(長崎港)推移

(単位:隻人)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
入港隻数	14	28	52	41	27	48	44
乗船者数(乗組員を含む)	10,032	47,123	56,459	45,975	21,403	60,381	76,798

(5) 修学旅行宿泊客の動向

調査を開始した平成12年以来、平成19年まで減少が続いていたが、平成20年以来、増加傾向にあり、平成22年も、県・観光連盟・市町が一体となり、集中的なセールス活動を行ったことにより、対前年0.1%増の433,710人と3年連続で増加した。

[表 7] 市町別修学旅行宿泊者数

(単位：人、%)

	平成20年	平成21年	平成22年	前年比
県 計	408,909	433,361	433,710	0.1
長 崎 市	271,700	291,300	293,100	0.6
佐 世 保 市	55,170	53,140	51,221	3.6
島 原 市	10,047	8,531	8,230	3.5
雲 仙 市	29,088	33,126	32,834	0.9
諫 早 市	5,344	5,274	4,696	11.0
大 村 市	0	0	551	—
平 戸 市	10,348	12,501	14,716	17.7
松 浦 市	10,737	14,536	14,232	2.1
五 島 市	4,295	3,440	1,599	53.5
新 上 五 島 町	0	85	526	518.8
壱 岐 市	7,188	9,177	8,200	10.6
対 馬 市	1,220	188	0	-
川 棚 町	2,489	817	2,117	159.1
小 値 賀 町	1,283	1,246	1,688	35.5

注1) 市町調査(聞き取り)による数値

長崎市については、市発表の団体客(学生客)の数であるため、日帰り客を含む

注2) 実績がある市町のみ掲載している。

3. 長崎県の観光消費額の動向

平成22年の観光消費額

観光消費額 2,705億円（対前年2.6%増）

平成22年1月から12月まで

～ 平成21年の2,636億円と比べ、69億円の増加 ～

1人1日当たりの平均消費額 日帰り客 6,666円（対前年 1.0%減）
 宿泊客 20,933円（対前年 0.4%減）

一日一人当たりの平均消費額は、やや減少したものの、日帰り客数、宿泊客数がともに増加したため、観光消費額総額は対前年2.6%増（+69億円）の2,705億円となった。

[表8] 観光消費額の推移

（単位：％）

年	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
対前年比	1.6	2.2	3.5	5.7	0.1	2.2	2.3	1.5	6.9	2.6

[表9] 平成22年観光消費額（日帰り・宿泊別）

（単位：百万円、円、％）

	平成21年	平成22年	増減	対前年比
観光消費額	263,610	270,451	6,841	2.6
日帰り客	124,872	126,875	2,003	1.6
宿泊客	138,738	143,576	4,838	3.5
平均単価（円） <一人一日あたりの平均消費額>				
日帰り客	6,732	6,666	66	1.0
宿泊客	21,012	20,933	79	0.4

（注）平成21年は再算定後の数値である。

(参考資料)平成22年市町別観光客数

(単位:人、泊、%)

区分 市町村	観光客延数									観光客実数					
	日帰り客数	宿泊客延滞数	延泊数	宿泊客実数	平均宿泊数	観光客延数	21年延数	前年比	増減	地元客	県内客	県外客	観光客実数	21年実数	前年比
県計	19,033,393	9,975,420	5,714,250	4,261,170	1.34	29,008,813	28,249,099	2.7	759,714	3,884,934	6,427,303	12,982,326	23,294,563	22,720,145	2.5
長崎・西彼	3,699,932	2,609,866	1,486,083	1,123,783	1.32	6,309,798	5,799,941	8.8	509,857	372,584	377,758	4,073,373	4,823,715	4,408,100	9.4
佐世保・西海・東彼・北松	5,184,528	2,735,745	1,525,205	1,210,540	1.26	7,920,273	7,424,735	6.7	495,538	1,401,518	1,588,443	3,405,107	6,395,068	6,050,956	5.7
平戸・松浦	1,987,483	681,438	414,100	267,338	1.55	2,668,921	2,924,846	8.8	255,925	206,444	776,052	1,272,325	2,254,821	2,470,196	8.7
諫早・大村	2,450,830	821,121	453,891	367,230	1.24	3,271,951	3,291,837	0.6	19,886	1,132,572	1,324,153	361,335	2,818,060	2,839,240	0.7
島原半島	5,271,402	1,653,609	885,196	768,413	1.15	6,925,011	6,923,057	0.0	1,954	629,465	2,183,967	3,226,383	6,039,815	6,007,550	0.5
五島	209,654	422,168	251,936	170,232	1.48	631,822	640,460	1.3	8,638	66,828	112,558	200,500	379,886	378,646	0.3
壱岐	63,994	486,225	323,062	163,163	1.98	550,219	554,098	0.7	3,879	25,502	13,806	187,849	227,157	228,229	0.5
対馬	165,570	565,248	374,777	190,471	1.97	730,818	690,125	5.9	40,693	50,021	50,566	255,454	356,041	337,228	5.6
長崎市	3,550,600	2,557,700	1,460,000	1,097,700	1.33	6,108,300	5,585,600	9.4	522,700	283,600	316,100	4,048,600	4,648,300	4,219,100	10.2
長与町	69,927	0	0	0	-	69,927	76,263	8.3	6,336	29,500	31,166	9,261	69,927	76,263	8.3
時津町	79,405	52,166	26,083	26,083	1.00	131,571	138,078	4.7	6,507	59,484	30,492	15,512	105,488	112,737	6.4
佐世保市	3,038,400	2,469,750	1,357,250	1,112,500	1.22	5,508,150	5,039,069	9.3	469,081	984,900	646,300	2,519,700	4,150,900	3,854,600	7.7
西海市	897,650	117,021	69,433	47,588	1.46	1,014,671	1,045,728	3.0	31,057	97,096	350,146	497,996	945,238	967,752	2.3
東彼杵町	19,361	6,022	3,011	3,011	1.00	25,383	21,942	15.7	3,441	1,789	16,332	4,251	22,372	19,126	17.0
川棚町	319,779	139,856	93,765	46,091	2.03	459,635	500,516	8.2	40,881	39,880	211,107	114,883	365,870	393,471	7.0
波佐見町	752,738	3,006	1,696	1,310	1.29	755,744	592,390	27.6	163,354	164,853	324,558	264,637	754,048	590,967	27.6
佐々町	156,600	90	50	40	1.25	156,690	225,090	30.4	68,400	113,000	40,000	3,640	156,640	225,040	30.4
平戸市	1,326,478	591,471	354,883	236,588	1.50	1,917,949	1,864,089	2.9	53,860	62,553	642,865	857,648	1,563,066	1,480,068	5.6
松浦市	661,005	89,967	59,217	30,750	1.93	750,972	1,060,757	29.2	309,785	143,891	133,187	414,677	691,755	990,128	30.1
諫早市	1,579,330	664,121	370,891	293,230	1.26	2,243,451	2,282,780	1.7	39,329	607,272	1,061,553	203,735	1,872,560	1,909,274	1.9
大村市	871,500	157,000	83,000	74,000	1.12	1,028,500	1,009,057	1.9	19,443	525,300	262,600	157,600	945,500	929,966	1.7
島原市	1,214,984	326,936	207,209	119,727	1.73	1,541,920	1,486,056	3.8	55,864	57,713	198,248	1,078,750	1,334,711	1,279,546	4.3
雲仙市	2,745,276	1,219,417	621,692	597,725	1.04	3,964,693	4,028,798	1.6	64,105	266,325	1,456,435	1,620,241	3,343,001	3,380,138	1.1
南島原市	1,311,142	107,256	56,295	50,961	1.10	1,418,398	1,408,203	0.7	10,195	305,427	529,284	527,392	1,362,103	1,347,866	1.1
五島市	129,816	261,518	153,783	107,735	1.43	391,334	402,560	2.8	11,226	35,851	66,091	135,609	237,551	238,573	0.4
新上五島町	71,430	126,161	76,781	49,380	1.55	197,591	196,103	0.8	1,488	28,937	38,673	53,200	120,810	117,755	2.6
小値賀町	8,408	34,489	21,372	13,117	1.63	42,897	41,797	2.6	1,100	2,040	7,794	11,691	21,525	22,318	3.6
壱岐市	63,994	486,225	323,062	163,163	1.98	550,219	554,098	0.7	3,879	25,502	13,806	187,849	227,157	228,229	0.5
対馬市	165,570	565,248	374,777	190,471	1.97	730,818	690,125	5.9	40,693	50,021	50,566	255,454	356,041	337,228	5.6